

令和5年度 学校評価書(自己評価)

山形県立鶴岡中央高等学校

【スクールミッション】

探究する学びと仲間や地域との関わりを通して、学ぶ楽しさを知り、社会で活躍できる学力と豊かな人間性を身に付け、「(立志) 夢を夢でおわらせない力、(気づき) いつもだれかを思って考えられる力、(共生) ふるさとのために活動する力」を持った、次代を担い、地域を担う人材を育成します。

校訓

—— 立志・気づき・共生 ——

1 教育目標（建学の精神）

- 自ら思考し、創造し、自学自律の態度を身につけた人間を育成する
- 広い視野と洞察力を持ち、豊かな人間性と果敢な実行力を備えた人間を育成する
- 自他を敬愛する精神を培い、地域や社会に奉仕し、貢献できる人間を育成する

2 本年度の重点目標と重点事項 生徒一人ひとりに寄り添い、生徒の可能性を引き出す教育活動の推進	自己評価			学校関係者評価 意見・要望
	今年度の成果と課題	評価	来年度への改善点	
(1) 確かな学力の定着と学ぶ意欲・態度の育成	① 学習習慣の定着、主体的・自立的に学ぶ生徒を育成する授業実践	①生徒満足度調査の結果から、自主的に学習する姿勢や雰囲気について課題が残る。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・1人と1人となりがなく信頼関係は重要で、あの先生が「見ていてくれる」ということで、がんばれる生徒がいる。ここまで多様化した価値観の中では、多面的な課題分析に情報の組織的な共有は必須。 ・自主的に学習する姿勢や雰囲気を醸成することは一朝一夕で良くなるものでないが、学力向上には欠かせない部分かと思う。今後も粘り強く取り組んで欲しい。 ・探究学習発表会を開催するなど、探究活動に力を入れているのは評価できる。 ・C評価となっている「主体的・自立的に学ぶ」という項目については改善の必要がある。難しい課題でもあるため、焦らずに数ヶ月計画などを立てて少しずつ改善を行っていく方法が良いのではないかと。 ・①の自己評価が「C」というのは、残念。この点こそが高校教育で最も重要な点であると考え。学習習慣や主体的自立的に学習する姿勢は、高校に入学する前における程度固定化されているものであることも事実で、高等学校の段階でこの点の改善を図るのは、相当な苦労があると思う。継続した取り組みを期待したい。 ・科の特色を生かした探究的な学習が推進されていると感じた。 ・生徒によって学習意欲にばらつきがあるとのことだが、高校生なので、その後の進路や将来の夢によっては学校での勉強が全てではない生徒もいると思う。例えば就職を視野に入れている、という生徒であればインターンシップ等で意欲を持たせるなど、「学校での勉強」だけが学力ではないので、普通科と総合学科をもつ高校として強みを活かし、生徒それぞれの良さを引き出して欲しい。 ・教育診断の生徒評価「自ら進んで勉強する生徒が育っている」が年々下がってきている。調査対象者が違うので一概に言えないが、年々右肩下がりの傾向は、何か仕掛けが必要ではないかと思う。
	② ICT機器の効果的な活用の推進と研修	②各年次、教科、課でICTを積極的に活用し、学習の成果を挙げている。	B	
	③ 「指導と評価」の適切な運用と研究	③観点別評価に関する研修会を実施することで、職員間の情報共有や疑問点の改善に繋げることができた。	A	
	④ 普通科、総合学科の特色を活かした探究的な学習の推進	④年次ごとの「目指す力」と3年間の「見直し」を示すことで、探究的な学習の体系化が進んだ。探究学習発表会を開催し、学習の成果を全校生徒、教員で共有することができた。	A	
	⑤ 特別支援教育の理解を深める研修と組織的な支援体制の確立と運営	⑤MH委員会を中心に組織的な支援体制につなげることができた。	B	
(2) 生徒の資質・能力を最大限に引き出す教育環境の充実	① キャリア教育総合実践プログラムに基づく系統的なキャリア教育の実践	①キャリア体験学習には積極的に参加できた。インターンシップは、事業所による評価が低下しており、実施時期などと合わせ課題が残った。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域にひらかれた高校」としての存在感と、少子化の進展する地方都市に中央高校の果たしてきた役割は大きいと評価している。普通科生にもふるさと回帰もいいなと思える体験と課題意識を持たせて欲しい。 ・キャリア体験学習の積極的な参加や行政等が来校しての学びは評価できる取り組みであり、今後も継続して欲しい。 ・コロナが徐々に明け、工夫されながらも実施してきた外部の方との接触や連携が増えたことが生徒の皆さんへ良い刺激になっているように見受けられる。来年度は校内へ外部の方を招き入れるだけでなく、さらに生徒自身が外に出ていく活動機会の設定検討もお願いしたい。 ・インターンシップは、学生が職業を考える良い機会。相手のあることで苦労もあるかと思うが、ぜひ継続・拡充して欲しい。 ・系統的なキャリア教育が実践されていると感じた。12月の探究学習発表会は中央高校らしさが発揮されとても素晴らしかった。聞く生徒の様子にも真剣さが感じられた。 ・「組織的な支援の推進」においては、丁寧な個別指導・個別対応と「教員の働き方改革」とのバランスが大切と感じる。貴校の働き方改革が確実に進んでいることも資料から明らかであり、進路指導の組織的対応の成果ともいえるのではないかと。 ・学科に伴った特色ある学習環境を提供できていると感じた。
	② 普通科「キャリア探究（総合的な探究の時間）」、総合学科「産業社会と人間」、「総合探究・課題研究（総合的な探究の時間）」の系統的な教育実践、及び組織的運営	②行政をはじめ、多くの方々に来校いただき生徒は多くの学びを得ることができたが、生徒自身が外に出る活動が少なかった。	B	
	③ 多様な進路希望や入試制度、就職試験に対応した計画的・組織的な進路指導・支援の推進	③進路情報のデータを整理し、生徒に提供している。小論文および志望理由書の個別指導の体制を整えた。面接指導については計画通り実施した。	B	
	④ 普通科・総合学科の特色ある教育課程編成の評価・検証	④学科・系列ごとに地域や関係機関と連携し、特色ある活動や学びを広げることができた。	B	
(3) 自他を尊重する態度と自律的な行動力の育成	① 他の尊敬を大切にし、社会人としての規範意識、マナーを理解し実践できる生徒の育成	①多数の生徒が明るく挨拶を交わしているが、挨拶を返せない生徒も一定数いる。スカート丈など制服の着こなし指導に係る課題がある。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止に係る委員会の定期開催など、いじめ防止に向けた取り組みは評価できる。今後も重点的に取り組んで欲しい。 ・コロナでコミュニケーションが不足している世代かと思う。必要なルールに基づく生徒指導は継続しつつ、多様性の時代なども踏まえて他者への理解と寛容性を持てるような指導もお願いしたい。 ・個々の生徒の個性・多様性をふまえて、コミュニケーション能力を育成することは、苦労が多いと思う。その手段の一つとして、部活動の活用を考えてもよいのではないかと。 ・「保護者による教育診断」の「明るく活発な学校生活」と「生徒満足度調査」の「お互いを大切にする雰囲気」の数値が高いことから自他を尊重する態度は身につけていることが伺える。 ・社会のルールやマナーは地域とのかかわりや校外での体験学習をさらに充実させる中で身につけていくことが必要。 ・行事の充実が人間関係構築力やコミュニケーション力の向上に役立っているのではないかと。他校に誇れる行事の充実を大切にして欲しい。 ・「多様性」という言葉が一人歩きしているような昨今、本質的な意味はどのようなものなのか、自分も他人も大事にするという考え方について、高校生のうちから理解できる機会を提供して欲しい。素直な高校生なので、しっかり理解してくれると思う。 ・若年層の対面コミュニケーション力が低下傾向にあると感じている。初対面の人ともコミュニケーションが取れて議論できる生徒を育てられると学校の価値も上がるのではないかと。そういった場を多く提供できればと思う。
	② 人間関係の構築力とコミュニケーション力の育成	②生徒が安心して安全に明るく生活できる学校にするため、「いじめを絶対に許さない」「盗難被害を出さない」環境づくりに努めた。	B	
	③ 特別活動、部活動、ボランティア活動、校外活動に積極的に参加する生徒の育成と活性化	③中央祭は一般公開を見送ったが、飲食販売を復活させ実施することができた。部の加入率(66.9%)は微減となった。	B	
	④ 成人年齢の引き下げに伴う主権者教育や消費者教育等の実践	④弁護士を講師に迎え、法教育を実施することができた。	B	
(4) 健康管理・安全教育の推進と危機管理体制の強化	① 自己の健康の維持・増進、及び、自己管理意識の向上	①健康観察の習慣化、換気・手洗いの励行など、自発的な行動を呼びかけた。保健委員による呼びかけも行った。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような災害や感染が出てくるか、予測できない時代を迎えている。各自の自己管理をしっかりしてもらおうための予防的な情報提供と行動化につながる訓練が必要であり取り組みを強化して欲しい。 ・地震等の災害は決して他人事ではないので、2度の避難訓練を実施したことはとても評価できる。今後も継続して欲しい。 ・安全安心な学習環境の整備は、生徒達の学校生活の基礎となるもの。引き続き、よい環境の確保に取り組んで欲しい。 ・資料にはないが、自転車ヘルメットの着用率向上に向けた取り組みはどの高校でも必要と感じる。 ・他校と比較して校舎も新しく清潔な校舎で、普段から環境を整えることや清掃への意識を高めることと、災害時の対応については一人一人がどこまで理解しているか、確認できると良い。いざ、というときに本当に動けるのかどうか、避難訓練後の振り返りも実施してみたい。 ・これだけの規模の大きな学校で、感染症が最小限に抑えられているのは、学校側の指導や呼びかけの成果と思う。引き続き、継続的な取り組みをお願いしたい。
	② 安全・安心な学習環境の整備と清掃活動の徹底	②地震・火災、水害を想定して2度の避難訓練を行い、災害時の対応を確認した。安全点検を毎月実施した。清掃活動が不十分な箇所がみられる。	B	
	③ 危機管理体制の整備、及び、施設設備の安全点検の徹底と迅速な対応	③危機管理マニュアルの周知や点検を呼びかけた。発災時の施設使用について鶴岡市との確認を行った。	B	
(5) 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取り組みの推進	① ホームページ等による情報発信の充実	①ホームページでは今年度から数多くの行事を掲載している。大会成績の報告を受けて、迅速に垂れ幕を作成し、本校の教育活動の成果を紹介することができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種発表会など、地域誌に公示することで取り組みの中身を紹介し、生徒の意欲喚起にもつなげて欲しい。スクールポリシーに連動した活動をさらに推進して欲しい。 ・多くの教育活動において、地域や各団体連携を進めていることは評価できる取り組みであり、今後も継続して欲しい。 ・学校の取り組みを戦略的に発信し、関係者の理解を得るための広報活動は非常に重要。現在の積極的な姿勢をぜひ維持していきたい。 ・PTAとの連携がとてもうまいっていることと、大変よいこと。引き続き、PTAとよい関係を構築し、さらに、地元の自治体、地域の諸団体、大学等とも連携を強められれば、生徒の学習にも深みと幅が出てくるのではないかと。この種の活動は、先生方の手間がかかり大変かと思うが、推進して欲しい。 ・HPの活用や地域への発信、PTAとの連携だけでなく、貴校で行っている地域の教育資源の活用や地域との交流が「社会に開かれた教育課程」の推進で最も大切であると感じる。 ・地元からの期待の大きい学校。ぜひ高校生から積極的に地域に出ていって欲しい。先日の探究発表会で、自分ごとの自律的な探究をしている生徒の発表は目を見張るものがあった。単なるアイデアにとどまらない思考がなされていると感じた。 ・ホームページでの学校アピールが向上されている。さらなる情報発信の充実を図り、中央高校の魅力を知ってもらいたい。
	② 地域の中学生や保護者、地域社会へのスクール・ポリシーの周知	②学校要覧、学校案内への掲載をはじめ、学校説明会などで周知に努めた。	B	
	③ P T A、同窓会並び鶴岡市や関係団体、企業等との連携、協働活動の活性化	③研修育成部によるPTA研修会を実施し、とても好評であった。朝の登校指導に延べ20名の役員参加があった。多くの教育活動において地域や各団体との連携を進めることができた。	A	
	④ 校務分掌の整備と活性化	④校務分掌の見直しについては多様な意見が出されるっており、課題の共有につなげることができた。	B	